

ぽっかぽか らいおん7がつ



友達と遊ぶことがただただ楽しいと感じられたぞう組。

きりん組になると自分を客観的に捉えることができるようになって、自身の良さに気付いたり他者と比べることが増え、友達への意識も上がっていました。

そして今、らいおん組。年長児は、自分も相手も主体性を発揮し、“互いを認め合い尊重し合う”ことが大切だとわかる時期です。自分の主張をしながら、相手の思いにも気付き、譲ったり助け合ったりすることができるようになってくるのです。

子ども達のこれらの姿は、発達段階における「協同性」の成長とも捉える事ができます。保育所保育指針「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の一つに「協同性」という項目があり、そこではこのように記されています。

「友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる」

今回、お店屋さんごっこを通して協同性が大いに育まれました。

協調性を育み 広がる友達の輪

STEP 1

「主体的に進める」

休日中の楽しかったこと、もう一度やってみたいと思える経験が遊びへとつながります。例えば、お寿司を食べたから粘土で表現する。レゴランドに行った子は積み木で構築してみる、など。子どもたちの再現遊びにつなげるため、思い出を振り返る力＝**記憶力**がより発揮されるよう、お集まりで楽しかったこと発表や休日の過ごし方発表の時間を度々設けました。

今回ひとつのお店屋さんごっこをきっかけにクラス全体で楽しめたのは、子ども達自身の経験と発信（**主体性**）があったからです。

発信があった際、担任はあえて条件を伝えました。

「**お友達と一緒に**お店屋さんごっこを進めてみよう」。

STEP 2

「伝え合い」

友達を誘いあってグループができる話し合い。内容は**誰と・何を・どうやって・必要な材料**。

お店屋さんごっこに正解はないのでクラスではこの話し合いよりも**伝え合い**を重視しています。

伝え合い＝自分の意見を伝える＋相手の意見に耳を傾ける。ですが、成長過程における現段階ではなかなかスムーズに伝え合いが進みません。

それもそのはず。各々の経験が違うからです。ピザ屋さんごっこを例にあげてみましょう。

単にピザをつくる、といってもデリバリーをした子、キャンプに行って釜で焼き上げた子、レストランで食べた子など様々。ピザはピザでも再現するイメージが共有できなくて難航。大人が仲介しながらどんなピザ屋さんにしたいか問いかけると一人の子が「じゃあドミノピザにしよう」と提案。具体的になったことで他の子も**折り合い**をつけ「そうしよう」と協調。自分の経験を主張しつつけるのではなく、仲間と「これから」どうしていくのかを決めることができました。

提案した子も折り合いをつけられた子（相手の意見を尊重）も双方がいい気持ちで制作にとりかかります。

共通の目的ができたことで友達の意見への賛同も増え**協力**しながらつくりあげることができました。

STEP 3

「協力してつくる」

イメージ（**想像力**）を実現させる**創造力**、この2つが合わさって再現度は高くなります。ラーメン屋さんの子たちは、画用紙を切ってわかめを、透明のストローを切って着色してもやしを、折り紙を丸めて切ってねぎを、トイレットペーパーに紙を張り付けピンクのペンでうずまきを描いてなると、中華模様をどんぶりに描く。とそれぞれ違った材料、やり方で制作。これも子どもたちからの発信で、大人も感心するばかりでした。上手く再現できない時には戻って話し合いをし、やり方を変えました。自分の制作が済むと他の子の制作も手伝う素敵な姿もありましたよ。

STEP 4

「より本物に近づけてみよう」

制作が完成したら、プレオープン!やってみることで何が足りていないか、もっとこうしようという改善ポイントを自分たちで見つけます。

「お客さんがいっぱいきたからカップケーキをもっと増やそう!」「わりばしがなかった!」「くだものやさんの隣でジュース屋さんがやりたい」などなどステップ2の時には思いもつかなかったことが次々とでてきます。

この時点で、最初の「自分がやりたい」気持ちから「お客さんに喜んでもらいたい」と思いやりの気持ちへと変化しているのです。紛れもなくこれは成長です。

もっと子ども達のやる気と**表現力**を高めるために、実際にピザ屋さんに見学に行ったり、お店屋さんごとに服装を聞いて提供したり、お店屋さんの言葉遣いなどはどうだろうかなど問いかけました。

本番

「らいおんフードコート」開店！

みんなで「いらっしゃいませー!!」と大きな声で出迎えてスタート!!全てのクラスの子も達がお客さんとして参加してくれました!

小さなお客さんの手をとってあげたり、テキパキとトッピングしたり、優しく声をかけてあげ、移動販売もこなしちゃう優しさと思いやりあふれる年長さんの姿。お店屋さんも本物さながらで、みんな笑顔。

1時間の長丁場でしたが、毎分盛り上がりを更新してくほど頑張っていました!!

きっと他クラスの子も憧れを抱いたことでしょう。らいおん組の子も達も達成感・満足感、ちょっとの疲労感を味わいました☺

みんなが楽しかったと思えたお店屋さんごっこ。素敵な思い出がまたひとつ増えましたね。

今回の再現遊びを通して育まれた協同性、や強くなった仲間との絆を大切に、さらなる成長を目指します! 次はお泊り会だー!!



保護者の皆さん、ご家庭でお店に行かれる際は、ぜひお子さんのことも見てみて下さい。もしかしたら今までとは違った見方をしているかもしれませんよ。楽しみですね♪

